

中 令和4年度 グランドデザイン

佐渡市立相川中学校

■佐渡市教育大綱

「明日の佐渡を創る人、世界と共に生きる人の育成 ～一人一人の自己実現を目指した教育の推進～」

【教育目標】

ともに支え ともに生きる ～仲間とともに 地域とともに～

■新潟県 学校教育の重点

ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていける、たくましいひとづくり

【重点目標】

～育てたい4つの力 4つの心～

自分で考える力	思いやりの心
自分で正しく判断し、行動する力	感謝の心
自分の考えを相手にわかりやすく伝える力	正義の心
自分の限界に挑戦する力	素直な心

○他とかかわり合いながら主体的に学ぶ生徒

知

- 単元を通して主体的・対話的で深い学びの実現を図る。
- 「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」が実感できる授業づくり。
- 「授業スタンダード」「学び合い10」の定着。
- 次時の授業に繋がる課題を提示し、家庭学習の習慣化を図る。
- 自らの「問い」を大切に授業づくり。

○人を応援することができる生徒 人から応援される生徒 ○いじめをしない、許さない、命を大切にする生徒

徳

- 生徒会を中心に、あいさつ・時間・清掃の徹底を図る。
- 互いの絆を深めるため、少人数を生かした縦割り活動を充実させる。
- 道徳や学級活動などにおいて、p4cの手法を取り入れ、互いの意見を尊重する態度を育てる。
- 鉱山まつりや地域貢献活動など地域にかかわる行事や活動に積極的に参加し、やりがいや充実感をもたせる。
- 生徒主体の「いじめ見逃しゼロスクール運動」を展開する。

○心身の健康の保持増進に努めるとともに自己管理ができる生徒

体

- 体力テストの結果を分析し、劣っている項目を保健体育の授業や部活動で実践し、体力の向上を図る。
- アウトメディアを意識させ、より良い生活習慣の定着を図る。(小学校や家庭と連携し、共通した取組を進める。)
- 食育を通して、生涯にわたり健康な体づくりを目指して自己管理できる能力を育てる。

より良い人間関係を構築する人権教育・同和教育の充実

信頼される学校づくりに向けて（家庭・地域と連携した教育の推進 小中連携の推進）

家庭・地域との連携

- 学校 HP, 各種たより、地域懇談会等を通して、積極的に学校の様子を伝え、教育活動への理解に努める。
- 佐渡学を通して、地域を知り地域を誇りに思う生徒を育成する。
- 課題解決型職場体験学習を通して、地域で働く意義を学ぶ。

地域とつながる教育活動の推進

- 「地域とともに生きる」を様々な教育活動に位置付け、地域の中での体験活動を実施する。
- 学校運営協議会を中核としたコミュニティスクールの活動を機能させ、積極的に地域と連携した教育活動を推進する。
- 「各小学校区青少年健全育成協議会」との連携により、生徒の健全育成に積極的に取り組む。

小中連携教育

- 児童生徒に関するきめ細かな情報交換を行い、育てたい子どもの姿を共有する。
- 小中合同で9年間を見通した共通指導事項を設定し、子どもたちの教育活動の連続性を高める。
- 日常生活の中で人権感覚のある言動を実践できる子どもを育てる。

目指す職員集団

- 目的意識と同僚性を大切にし、「チーム相川」となって教育活動に当たる職員集団。
- 生徒の将来を第一に据えた教育活動を進める職員集団。
- 保護者・地域から信頼され「地域とつながる」活動を進める職員集団。

相川中学校 PTA 相川中学校学校運営協議会 各小学校区青少年健全育成協議会 相川小学校 金泉小学校 七浦小学校